

2024年1月19日

各位

ゲンダイエージェンシー株式会社  
代表取締役CEO 山本 正卓  
(コード番号: 2411)  
問い合わせ先 取締役CFO 高 秀一  
TEL 03-5308-9888(代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、新たに業績予想の見直しを行った結果、2023年4月14日付「2024年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

記

2024年3月期通期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)(2023年4月14日発表)	8,000	500	500	400	32.32
今回修正予想(B)	7,500	280	280	180	14.54
増減額(B-A)	△500	△220	△220	△220	
増減率(%)	△6.3%	△44.0%	△44.0%	△55.0%	
(参考)前年同期(2023年3月期)実績	7,545	401	420	369	27.85

(注) 当社は、2023年5月19日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

(修正の理由)

(1) 売上高の修正

当連結会計年度におきましては、主力のパチンコホール広告分野において、パチンコ、パチスロの次世代機の順次投入や、パチンコホールの広告規制見直しの動きが進むことにより、パチンコホールの広告需要の反転を期待しておりました。しかしながら、次世代機導入に必要な投資資金確保のため、広告費支出は抑制傾向が続いており、さらには、2023年10月より施行されたステルスマーケティング規制により、多くのパチンコホールが、インフルエンサー等を活用したインターネット広告を見合わせたことから、インターネット広告の成長は鈍化しました。

その結果、当連結会計年度における売上高は、前回発表予想比で、500百万円減少する見込みであります。

(2) 営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の修正

営業利益、経常利益については、販売費及び一般管理費は当初予想通り推移しているものの、主としてマーキングの高いインフルエンサー広告の減少により売上総利益が大幅に減少した結果、前回発表予想比で、それぞれ220百万円減少する見込みであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、営業利益の減少に加え、繰延税金資産の一部取り崩し(△21百万円)があったことから、前回発表予想比で、220百万円減少する見込みであります。

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上